

菅首相の腰ぬけ外交では日本を守れない!

このままでは 日本が危ない!

^{せん かく}尖閣諸島沖 中国漁船衝突事件の船長釈放は、
中国による日本無血占領への第一歩だ!

尖閣諸島沖の日本領海内を不法に航行し、海上保安庁巡視船に衝突して逮捕された中国漁船の船長が、拘留期限の前に突然、釈放されました。日本政府は、中国政府の恫喝まがいのさまざまな圧力に屈したうえ、釈放後に、謝罪と損害賠償まで要求されました。まさに腰ぬけ外交です。幸福実現党は、去年夏から、民主党政権による国難を訴え続けてきましたが、今回の事件はまさに私たちが警告を発してきたことです。菅政権には、私たちの国や国民を守る気概がないのです。

1 仙谷官房長官は、即刻辞任せよ!

今回の釈放について、仙谷官房長官は、その責任を那覇地検に丸投げしています。これが国家の指導者でしょうか。政府を代表して釈放を認めた仙谷官房長官は、即刻辞任すべきです。

2 中国政府のおどしに屈せず、毅然とした外交を!

今回「日本はおどせばすぐに折れる」という前例を残してしまいました。中国政府の狙いは、尖閣の次は沖縄、そして日本列島と、近隣諸国の植民地化です。おどしに屈せず、国家と国民の命を守るという、主権国家として当たり前の外交がいま必要です!

3 ^{せん かく}尖閣諸島に自衛隊の即時配備を!

尖閣海域での中国漁船による領海侵犯は急増しており、海上保安庁が立ち入り検査した事例は、今年14件にも上ります。漁師たちは怖くて漁に出られない状態です。国民と国土を守るために、海上保安庁の巡視船にも重装備をさせ、尖閣諸島に自衛隊を配備すべきです。さらに、国防の基礎である日米同盟を堅持するためにも、普天間基地の辺野古移設を即時断行することを求めます。

